



2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 乗(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

週報

第231回例会 10月23日(火)PM19:00~20:00 オークラホテルチェルシーの間
 司会:坂本順香 点鐘:河合宏浜松RC会長 ロータリーソング:奉仕の理想

会長挨拶

合同例会にたくさんのご出席をいただき、ありがとうございます。この合同例会当初30人とか40人の出席と聞き、心配になり回答のない会員に電話をし始めました。そしてびっくり、「市長になられて初めて出席される鈴木康友さんのお話を聞きたい！」という方、「尊敬する先輩クラブの浜松RCの交流会を楽しみにしています」という方ばかりでした。歴史のある素晴らしい浜松RCからたくさんのごことを学び、歴史は浅いけれど一生懸命頑張っているパワー浜松RCのよさを知っていただきたいと思ひます。

幹事報告

・来週の例会は、CLP導入及び定款細則の変更の臨時総会がありますので出席をお願いいたします。
 ・本日、皆様のテーブルに市長へのメッセージカードが用意されています。後で案内がありますが市政への意見、質問、励ましの言葉なんでも結構ですので書き入れて下さるようお願いいたします。

会長挨拶

河合 宏 浜松RC会長
 昨年10月に創立5周年の静岡分区RCの中で最も新しいクラブ、中野哲男ガバナー年度の記念事業として設立、会員数では16のRCの中で第2位のクラブ、設立準備中には色々あり、産みの苦しみを味わったクラブと聞いています。そのパワー浜松の皆さんとの合同例会を持つことができました。浜松RCの平均年齢は59.7才、パワー浜松さんは49.5才です。外国人の会員も一人おられます。昨年の認知症サポーター養成講座では、1000人を超える市民を動員されました。CLPに関しては、次年度から導入予定の様であります。以上パワー浜松さんに関する事を申し上げました浜松RCの沢山のプロジェクトから一つを申し上げます。国際奉仕委員会の世界社会奉仕(WCS)事業として、アジアで最も貧しい国ネパールの教育支援を行います。具体的には中学校の校舎の建設で、4つの教室を作ります。これは、RIの4大目標の一つの識字率向上にも貢献できるものであると考えました。本日はパワー浜松の会員の鈴木康友市長、ご講演有難うございます。皆さん、後日談でやって良かったと言ひ合える合同例会に致しましょう。



浜松RC 中村会長の挨拶

出席報告

97名中75名77.32%
 前々回修正出席率65.96%

連絡事項

浜松RC&パワー浜松RC合同例会
 <式次第>

【例会】

- 1.点鐘：浜松RC 河合宏会長
- 2.ロータリーソング斉唱
- 3.会長挨拶：浜松RC 河合宏会長、パワー浜松RC 原田道子会長
- 4.幹事報告：浜松RC 田畑隆久幹事、パワー浜松RC 長谷川博久幹事
- 5.委員会報告
- 6.スマイル報告
- 7.閉会宣言・点鐘：パワー浜松RC 原田道子会長

【講演会】

「浜松市政の未来について」 鈴木康友浜松市長

【懇親会】

- 1.乾杯：金山土州 パスト会長
- 2.中締め：中野哲男 パストガバナー
- 3.「手に手つないで」
- 4.閉宴





2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 乗(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

議事卓話

鈴木康友浜松市長 「浜松市政の未来について」



わたくしは、市民の皆さんに約束したいのは、市民の皆さんの足を引っ張らないということです。市民の皆さんの足枷になるような規制を緩和して行こうと思っています。

だからといって「行政が手取り足取り何でもする」というようなことは、現在の行政の運営のあり方ではないと思っています。何よりも市民の皆さんのやるきのエネルギーを引き出すことがこれからの行政の役割なのです。そのような感覚で行政を運営しなければ、このように大きくなった浜松市を運営することは出来ないと思っています。

私のスローガンで「共生共助でつくる豊かな地域社会」と掲げています。「共に生きて、共に助け合う」という精神で、我慢するところは互いに我慢し、助け合うことは互いに理解し、助け合おうではありませんか」と訴えています。

各区でお互いを理解し何が今必要なのか、何から順番に行うのかを話し合いながら決めていかなければなりません。この広域な浜松市を運営することはとても大変なことであります。

「政令指定都市になったけど、仕事は増える一方でお金は入ってこないじゃないの」という不満ばかりが表に出てしまいます。だからこそ、浜松市が一体となって、10年から20年先を見据えた市の運営が必要なのです。

